

古河電工グループ理念

基本理念 世紀を超えて培ってきた素材力を核として、絶え間ない技術革新により、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

経営理念 私たち古河電工グループは、人と地球の未来を見据えながら、

- 公正と誠実を基本に、常に社会の期待と信頼に応え続けます。
- お客様の満足のためにグループの知恵を結集し、お客様とともに成長します。
- 世界をリードする技術革新と、あらゆる企業活動における変革に絶えず挑戦します。
- 多様な人材を活かし、創造的で活力あふれる企業グループを目指します。

行動指針

1. 常に高い倫理観を持ち、公正、誠実に行動します。
2. あらゆる業務において革新、改革、改善に挑戦し続けます。
3. 現場・現物・現実を直視し、ものごとの本質を捉えます。
4. 主体的に考え、互いに協力して迅速に行動し、粘り強くやり遂げます。
5. 組織を超えて対話を重ね、高い目標に向けて相互研鑽に努めます。

編集方針

古河電工では、「CSR報告書」を毎年発行しています。当社グループに関係する全てのステークホルダーの中でも特に関係の深いお客様、株主・投資家様、地域住民の皆さま、調達取引先（パートナー）様、従業員に、CSRに関する考え方や取り組みをわかりやすく報告し、ご理解いただけるよう努めています。

この2011年版報告書においては、東日本大震災への対

応をまとめた緊急報告ページを設けています。また、震災発生後ますますニーズが高まっているスマートグリッドの実現に向けた取り組み、中期経営計画「ニューフロンティア2012」で定めた重点地域の一つであるブラジルにおいて通信ケーブルとその関連製品を製造・販売している関係会社Furukawa Industrial S.A.(FISA)のCSR活動をそれぞれ特集として取り上げています。

報告対象範囲

対象組織

古河電工および関係会社を含めた古河電工グループを対象としています。

対象期間

2010年4月1日～2011年3月31日

※ 一部にはこれまでの取り組みや2011年度の活動を含んでいます。

データの範囲

古河電工および連結対象子会社109社を対象としています。ただし、データの集計範囲が異なる場合には、該当箇所に範囲を明示しています。

発行時期

発行日:2011年9月9日

次回発行予定:2012年9月(前回2010年10月)

本報告書の開示情報の正確性の保証に関する考え方

開示情報の正確性を確保するために、当該情報に関する担当部門、広報を担当するIR・広報ユニット、報告書の編集を担当するCSR推進本部管理部で記載内容を精査しています。また、外部の専門家の意見を取り入れた報告書とするため外部有識者に第三者意見をいただいています。

今後につきましては、報告書開示内容について、第三者による保証等を検討していく予定です。

ホームページ

<http://www.furukawa.co.jp/csr/>

お問い合わせ先

古河電気工業株式会社 CSR推進本部 管理部

TEL:03-3286-3044 FAX:03-3286-3920

参考にしたガイドライン

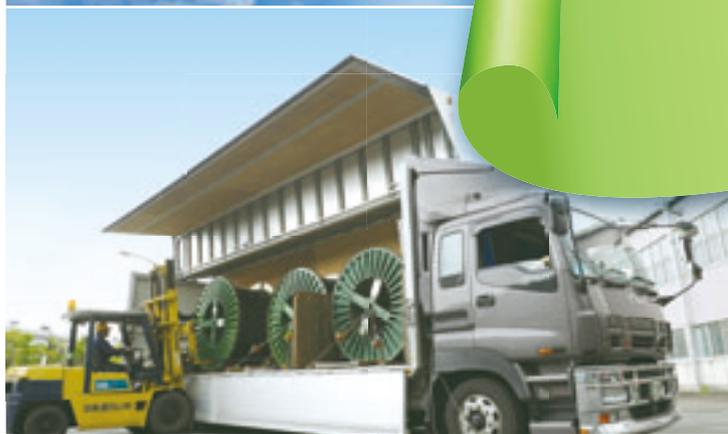
「古河電工グループCSR報告書2011」の作成にあたっては、GRIの「サステナビリティ・レポート・ガイドライン2006(第3版)」*および環境省の「環境報告ガイドライン2007年度版」を参考にしています。本報告書は、GRIにどの程度準拠しているかを示す「GRIアプリケーション・レベル」において、「B」の基準を満たしていると自己評価しています。
※ 本報告書との対応については、P42「GRIガイドライン対照表」をご参照ください。

報告書適用レベル	C	C+	B	B+	A	A+
G3プロフィールの情報開示 output	報告 1.1 2.1-2.10 3.1-3.8, 3.10-3.12 4.1-4.4, 4.14-4.15		レベルCの要求項目に以下を加える。 1.2 3.9, 3.13 4.5-4.13, 4.16-4.17		レベルBと同様	
G3マネージメント・アプローチの開示 output	要求項目なし	外部保証を受けた報告書	各カテゴリの指標に対するマネージメント・アプローチの開示	外部保証を受けた報告書	各カテゴリの指標に対するマネージメント・アプローチの開示	外部保証を受けた報告書
G3と業種別補定文書のパフォーマンス指標 output	パフォーマンス指標について少なくとも10の報告があること。そのうち、社会、経済、環境分野について少なくとも一つ報告があること。		パフォーマンス指標について少なくとも20の報告があること。そのうち、経済、環境、人権、労働、社会、製品責任分野について少なくとも一つ報告があること。		G3の中核指標及び業種別補定文書*のパフォーマンス指標に対応していること。重要性の原則を考慮して、a) 指標について報告、またはb) 指標の報告の省略の説明があること。	

※ 最終版の業種別補定文書

Contents

- 01 古河電工グループ理念／編集方針
- 02 目次
- 03 古河電工グループ概要
- 05 ごあいさつ
- 07 緊急報告**
東日本大震災への対応について
- 10 マネジメント強化の取り組み**
 - 11 2010年度目標と実績、2011年度目標
 - 12 コーポレートガバナンス
 - 13 CSRマネジメント
- 16 環境への取り組み**
 - 17 特集 1**
エネルギー・スマートグリッドの展開
 - 19 環境マネジメント
 - 20 環境教育
 - 21 マテリアルフロー
 - 22 目標と実績
 - 23 環境調和製品推進活動
 - 24 生物多様性保全活動
 - 25 環境配慮生産活動
 - 26 化学物質管理活動
 - 27 環境リスク管理
- 28 社会への取り組み**
 - 29 特集 2**
ブラジルにおける社会貢献
 - 31 お客様との関わり
 - 33 株主・投資家様との関わり
 - 34 調達取引先様（パートナー様）との関わり
 - 35 従業員との関わり
 - 39 社会・地域との関わり
 - 41 第三者意見
 - 42 GRIガイドライン対照表



▲震災からの復興に向けてインフラ関連製品の安定供給に努めます。



▲自然エネルギーなどの効率的利用のためエネルギー・スマートグリッド関連製品、システムを提供していきます。



▲ブラジルにある関係会社FISAは、通信ケーブルの製造・販売や現地雇用、子供たちの教育支援などを通じて、地域社会の発展に貢献しています。